



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第50回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第50回全国研究発表大会は、平成25年6月1日(土)、2日(日)に東洋大学(川越キャンパス)にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

開催日：平成25年6月1日(土)、2日(日)

開催場所：東洋大学 川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 TEL:049-239-1300

http://www.toyo.ac.jp/access/kawagoe_j.html

連絡先：実行委員長 東洋大学 島田 裕次

TEL:049-239-1395(直通) FAX:049-239-9788 E-Mail:shimada@toyo.jp

参加費：会員5,000円、非会員6,000円、学生会員3,000円(当日支払いは1,000円高)

非会員の学生は当日払いの学生会員と同額の4,000円

懇親会費：会員5,000円、非会員6,000円、学生3,000円(当日支払いは1,000円高)

昼食：1日(土)は学内の食堂が利用可能です。2日(日)は、お弁当の予約を受け付ける予定です。

宿泊等：大学近くにビジネスホテルがあります。東武東上線・JR川越駅周辺にもホテルがございます。

発表申込：本JAMS NEWS 4頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、3月29日(金)まで(厳守)に学会事務局宛に Fax.(03-3371-5185)して下さい。申込書ダウンロード、フォームによる申込みは学会ホームページ<http://www.jams-web.jp/>からもできますのでご利用下さい。

発表原稿締切：5月1日(水)まで(厳守)、学会事務局宛

参加申込：次号JAMS NEWSに同封の振込用紙にて、上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

■発表者の方へ(会場設備について)

すべての発表会場には備え付けのPCとプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータ(USBフラッシュメモリー、CD-R)をお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノートPCをお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になりますので準備に時間がかかります。

■学生発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員(一般的には指導教員)との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とする。

■大会会場へのアクセス

電車をご利用の方

- 東武東上線 鶴ヶ島駅下車 東口から 徒歩約 10 分（新西門まで）
- 東武東上線 池袋駅→鶴ヶ島駅 急行約 38 分／準急約 45 分
- 東武東上線 川越→鶴ヶ島駅 約 8 分

車をご利用の方（広い駐車場がありますので、ご利用ください）

- 関越道 鶴ヶ島 IC から約 3.1km
（鶴ヶ島方面に出て、市役所入口交差点左折、東武東上線踏切通過後約 250m 左折：南門入る）
- 圏央道 圏央鶴ヶ島 IC から約 3.8km
（圏央鶴ヶ島 IC 直進、国道 407 号を右折、市役所入口交差点右折、東武東上線踏切通過後約 250m 左折：南門入る）

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

4. 発表件数の制約

同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3 件目からは 1 件あたり 5,000 円を徴収します。

5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第 17 期の被選出常任理事選挙ならびに会長選挙の結果について

役員選出委員会委員長 西口宏美

会員の皆様には被選出常任理事選挙にご協力いただきまして誠にありがとうございます。被選出常任理事につきましては、1 月 25 日の開票により以下の 15 名が選出されました（敬称略、選挙届出順）。

佐々木 桐子（新潟国際情報大学）	福井 幸男（関西学院大学）	佐藤 修（東京経済大学）
金子 勝一（山梨学院大学）	鄭 年皓（明治大学）	毛利 進太郎（神戸学院大学）
原田 保（多摩大学）	石井 博昭（関西学院大学）	板倉 宏昭（香川大学）
小田 哲久（愛知工業大学）	塩出 省吾（神戸学院大学）	小田部 明（日本大学）
今井 正文（豊橋創造大学）	田畑 智章（東京富士大学）	林 誠（愛知淑徳大学）

また、被選出常任理事の方々の郵送投票によって会長選挙を実施し、2 月 13 日の開票により会長には、石井 博昭 先生が選出されました。以上の通り、被選出常任理事の選挙結果および会長選挙の結果をご報告させていただきます。

JAMS 学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 山下 洋史

平成 24 年度第 49 回全国研究発表大会（於：関西学院大学）終了後、表彰委員会を開催し、慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の 4 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

1. 「バックオーダーと順序依存型段取り時間を考慮した多品目容量制約付きロットサイズ決定問題の解法」
隅田歩（東海大学）
 2. 「薄型テレビ産業におけるコモディティ化の要因分析研究」
牧野祐介（立命館大学）
 3. 「総段取り時間の最小化を目的関数とした無相関並列機械スケジューリング問題の解法」
龍崎優（東海大学）
 4. 「購読料モデルを考慮した投資格付けビジネスに内在する利益相反に関する理論的研究」
上村諒（早稲田大学）
-

平成 24 年度第 2 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2012 年 10 月 13 日（土）、16 時 00 分～18 時 30 分
- II. 開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1 号館 3 階会議室
- III. 出席者：松丸、常田、椎原、石井、石原、上原、奥原、西口、福井、松岡、山下、金子、鄭、高橋、高橋、立川、林、原田、柳田 監事）田畑（敬称略）
- IV. 議決事項
 1. 平成 24 年度第 1 回議事録の確認（西口）：平成 24 年度第 1 回議事録の内容が報告され、承認された。
 2. 会員の入退会について（西口）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 540 名、学生会員 143 名、賛助会員 1 社となった。
 3. 役員選出委員会の設置について（松丸）：役員選出委員会委員について提案がなされた。同じ所属機関の会員が 3 名含まれているとの指摘があり、公正を期すため一名を他の機関の会員に変更、承認された。
 4. 理事の追加について（松丸）：第 50 回大会実行委員長の東洋大学の島田裕次先生を理事に追加する提案があり、承認された。
- V. 協議事項
 1. 第 49 回全国研究発表大会の準備状況について（福井）：第 49 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。
 2. 規定類の確認と改定について（松岡）：会則第 14 条における役員任期の上限に関する不具合について説明がなされた。理事会として平成 16 年 10 月 30 日の臨時総会の議決が有効であることを確認し、改めて平成 25 年度の総会で承認を得る事とした。また他の規定類の改定等も整備を進めことが確認された。
 3. 役員選出の手続きについて（西口）：役員選出の手続きについて説明がなされた。文面の修正ならびに選挙日程を修正した後、承認された。また、推薦書のフォーマットは、Web にアップすることになった。
 4. 学会賞・論文奨励賞選考 WG の設置について（山下）：学会賞・論文奨励賞選考 WG の設置について提案がなされた。設置目的として、学会賞と論文奨励賞を安定的に選出することを目的としている旨の説明とともに、WG の運用内規についても示された。以上の提案をもとに準備を進めていく事で、承認された。
 5. IJAMS の編集状況について（石井）：IJAMS の編集状況について説明がなされ、査読作業が若干遅れているため和文誌との同封が困難となるかもしれないとの報告がなされた。和文誌の発送は 1 週間ほど遅らせることも可能であることから、可能な限り調整することになった。
- VI. 報告事項
 1. 通常総会の議事録について（西口）：通常総会の議事録について報告がなされた。
 2. 第 48 回全国研究発表大会の開催結果について（常田、上原）：第 48 回大会全国研究発表大会の開催結果について報告がなされた。また、障害をもつ参加者への配慮について喚起がなされた。
 3. 学生発表優秀賞について（山下）：学生発表優秀賞について報告がなされた。
 4. 他学会への協賛等について（奥原）：他学会への協賛について報告がなされた。

受付番号 _____

日本経営システム学会 研究発表申込書

平成 25 年度 第 50 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)	代表者名: ()	

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。
2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)
3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail:keieisys@hh.ij4u.or.jp